



帯広畜産大学

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

## ヨシを用いた水質浄化に関する研究

著者	辻 修
発行年	2011-02
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1588/00004122/">http://id.nii.ac.jp/1588/00004122/</a>

# ヨシを用いた水質浄化に関する研究

帯広畜産大学域環境学研究部門 教授 辻 修

連絡先 E-mail:tsuji@obihiro.ac.jp TEL:0155-49-5510

キーワード:ヨシ、土壌流出、水質浄化、浮島

## 概要

美瑛町は、美しい景観の町として知られているが、水沢湖集水域の傾斜地域では、土壌流出等による湖の水質悪化が見られる。そこで、美瑛町と帯広畜産大学では、共同して水質改善に取り組んでいる。その一環として、地域の環境を考える親子参加型の環境教室も開催している。

## シーズの特徴

北海道美瑛町と帯広畜産大学において水沢ダムの環境浄化を目的とした共同研究を平成19年より実施している。美瑛地区では傾斜地が多いために土壌流出とともに肥料成分が流出しており、これが水質悪化の要因の一つと考えられている。共同研究では、ヨシを用いた水質浄化方法を検討している。

①ヨシを栽植した滞水地による窒素の吸収

ダムに流入する河川から水を引き込み、ヨシを栽植したヨシ田により窒素等の養分を吸収させる。

②ヨシを栽植した浮島による栄養分の吸収

水に浮くマット中にヨシの茎を埋め込んでダムの水面に浮かせておくと出芽し、養分を吸収しながら生育していく。



## これまでの活用事例・技術移転

帯広畜産大学内のビオトープ、水沢ダムで浮島の調査を行っている。

## 研究者からのメッセージ

ヨシの繁殖は難しいが、このヨシ稈による繁殖はととても簡単であり、これを用いた道内湖沼の水質浄化に取り組みたいと考えている。

参考情報:人工浮島による美瑛町水沢湖の水質浄化について:農業農村工学会北海道支部,114-115,2009

問い合わせ先:帯広畜産大学地域連携推進センター E-mail:crcenter@obihiro.ac.jp

Tel:0155-49-5771